農業公社支援プロジェクト

基本目標１　稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする

■事業の課題・目的

　持続可能な地域農業の確立が必要とされている中で、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加、気候変動による生産リスクの高まりなどの課題が多くあります。
　これらの課題に加え、大型農業機械等価格の高止まりによる農業資材、農業機械等の更新が困難となっている課題を解決・支援するため、「農作業の受委託」と「後継者の育成・確保」を軸に農業者の経営安定を図る農業公社と事業を推進しています。

■事業内容



〇農業経営を希望する農業後継者及び新規就農者を育成することを目的に、農業公社の研修農場において、農業技術の実践研修等を行い農業での自立を目指します。

・研修期間：２年間
・年齢：概ね45歳未満
・研修品目：施設ピーマン
・栽培面積：２名同世帯者（20a）、１名（11a）
・研修手当：１年目
　２名同世帯者　26.25万円/月
　１名　16.25万円/月
　２年目　独立経営方式による研修のため、支給なし

■なぜ寄附を募るのか

　「土を耕し、未来を耕す。志布志の農業を、日本の食の未来を、共につくりたい。」
　志布志市農業公社は、これまで地域の農家をはじめ、行政や関係団体と共に、額に汗して豊かな実りを生み出してきました。しかし、今、農業が直面している風は、かつてないほど冷たく、強いものです。
　「これ以上、肥料や燃料、農業機械の価格が上がっては続けられない……」、「高齢なうえ、後継者がいない」、先祖代々守ってきた畑を前に、離農を決意する農家の声を聞くたび、危機感を募らせています。また、農業公社の受託作業料金の値上げや機械の更新もしかりです。農家が減るということは、農地が荒廃化し獣害が増え、日本の食卓から新鮮で安全な食べ物が消えていくということです。
　このことからも、作業効率化などで農家のサポートを強化し、農業を志す次世代の人材育成が必要不可欠です。



■メッセージ

　皆様からいただくご支援は、目先の延命ではなく、『資材高騰に負けない強い農業構造への変革』と『若い農家が夢を持てる仕組みづくり』のために、無駄なく活用させていただきます。
　地域農業を支えることは、我々の生活、ひいては命を守ることに繋がります。
　志布志の豊かな大地から、日本の農業の逆転劇を共につくりましょう！